

# TEISEN REPORT

第95期事業報告書

自 2020年1月1日

至 2020年12月31日

帝国纖維株式会社

## ご挨拶

株主の皆様には、平素から格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。  
さて、当社第95期（2020年1月1日から2020年12月31日まで）の事業報告書をお届けするにあたり一言ご挨拶申し上げます。

まずはこの度、新型コロナウイルスに罹患された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

また、医療関係者をはじめ、感染症の拡大防止・収束に向けて、最前線でご尽力いただいている方々に心より感謝申し上げます。

中国を発生源とし、瞬間にパンデミックとなって世界に拡散した新型コロナウイルスをはじめ、急激な気候変動により毎年のように甚大な洪水等の被害をもたらす大規模自然災害、さらには近い将来発生が予想される巨大地震など、歴史的な災害の脅威にさらされている我が国においては、これらに対するレジリエンスの強化は社会の急務となっています。

当社グループは、2020年度からスタートした第五次中期経営計画「<sup>テイケン</sup>帝国繊維2022」では、

◀ 先進的防災事業を確立・発展させ

多発化・激甚化する自然災害・気候変動による脅威から

社会や事業の安心・安全を守る! ▶

を目標に掲げ、グループ一丸となって取り組んでおります。

計画初年度において、「<sup>テイケン</sup>帝国繊維2022」に掲げた各々のテーマはいずれも着実に進行し、「総合防災企業」として、当社の事業基盤は一層強固なものになっております。

これもひとえに株主の皆様のご理解ご支援の賜物と深く感謝申し上げます次第です。

第95期の期末配当につきましては、「<sup>テイケン</sup>帝国繊維2022」により、収益基盤の拡充が図られていることから、普通配当を5円増配して1株当たり45円とさせていただきます。

引続き「<sup>テイケン</sup>帝国繊維2022」に掲げた諸テーマを完遂させ、先端的防災事業の確立・発展を通じ、社会的使命と責任を果たすとともに、企業価値の向上に尚一層取り組んでまいります所存です。

何卒株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



代表取締役会長  
白岩 強

2021年3月

## 当期の概況および次期の見通しについて

当連結会計年度におけるわが国経済は、当初企業収益や雇用環境の改善等を背景に緩やかな回復基調が続くと見られていたものの、新型コロナウイルス感染が急速に拡大し、それに対応する企業活動の自粛や緊急事態宣言の発出により、個人消費や輸出、生産の減少に加え、雇用情勢や設備投資も弱含みになる等、極めて厳しい状況で推移しました。世界各国において新型コロナウイルス感染拡大がますます加速している状況下、わが国においても緊急事態宣言が再度発出されるなど、感染対策が喫緊かつ最重要となる事態に直面しており、先行きが一層深刻かつ不透明となる状況が続いております。

防災事業の分野では、新型コロナウイルス感染拡大の猛威により、多くの人命が奪われており、パンデミックへの備えは、人類が取り組むべき永続的なテーマであることが改めて認識されています。

また、7月に入り、度重なる線状降水帯による集中豪雨により、熊本県を中心とした九州や中部地方に甚大な洪水被害が発生しました。急激な気候条件の変化を背景に、毎年のように繰り返される豪雨や暴風は、河川の氾濫や土砂災害などにより、国民生活、企業活動に大きな混乱を生じさせています。また、首都直下地震、南海トラフ地震による脅威もますます高まっています。さらに、世界各地で発生するテロにより多くの人命が奪われるなど特殊災害のリスクが世界的な拡がりを見せており、多様化、多発化、激甚化する災害に対する官民挙げての防災体制の確立がますます重要となっております。

繊維事業の分野では、リネン（麻）につきましては、麻素材の市場定着が進んでまいりましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響から市場は収縮しており、売上は減少しております。

一方、耐熱、耐切創、高強力など優れた機能の特徴とする高機能繊維につきましては、防護服分野を中心に新規商材の開発が進展しつつあります。

その結果、当連結会計年度の売上高は323億3千2百万円（前期比8.6%減）、営業利益は41億8千9百万円（前期比25.3%減）、経常利益は48億6千5百万円（前期比21.5%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は33億7千9百万円（前期比20.6%減）となりました。

次期の連結業績につきましては、連結売上高330億円、営業利益36億円、経常利益42億円、親会社株主に帰属する当期純利益29億円を見込んでおります。

### 経営理念

当社グループは創業時から受け継がれた「社会の安全、生活文化の向上に貢献する企業」を基本理念とし、戦前は製麻事業を中心に広く国家的貢献を果たし、また、近時は総合防災事業とリネン事業という2つの価値ある事業を通じて、1世紀以上に亘り、社会・国民の安心・安全と良質な生活文化の向上に貢献してまいりました。

当社グループは、これらの事業活動を通じて、「一味ちがった優れた企業」「発展し成長を続ける企業」「社会や公共に大きく貢献する企業」の実現を目指しております。

### 中期経営計画「<sup>テイ</sup>帝国<sup>セン</sup>繊維2022」について

2020年度からスタートした第五次中期経営計画「<sup>テイ</sup>帝国<sup>セン</sup>繊維2022」では、

「**先進的防災事業を確立・発展させ  
多発化・激甚化する自然災害・気候変動による脅威から  
社会や事業の安心・安全を守る！**」

を目標に、以下のテーマを推進してまいります。

1. 大量送排水システムによる新たな市場開拓  
基幹産業のBCP対策、国土交通省・自治体による水害対策への貢献
2. セキュリティビジネスの新たなフロンティアを切り拓く  
セキュリティビジネスにおける商材開発強化と空港を足掛かりとする市場拡大
3. 防災特殊車輛ビジネスの確立  
革新的な防災特殊車輛により、消防防災・産業防災の装備刷新・充実に貢献する
4. 当社事業の基盤である足元の事業を固め、一層磨き上げる  
消防ホース・防災車輛・資機材・防火衣等特殊被服の4事業分野で確固たる業界No.1の地位を確保する
5. 消防ホース・防災車輛生産体制の刷新
6. 収益力の持続的強化を目指す

#### 大量送排水システムによる新たな市場開拓

近年、スーパー台風や記録的な大雨により、甚大な水害被害が日本各地で発生しています。洪水や高潮などによる被害の最小化は、国・地方自治体・企業が取り組むべき共通の課題となっています。大量送排水システム（ハイドロサブシステム）による新たな市場を開拓し、水害対策に貢献してまいります。優れた商材と強力な営業力（体制）で、市場席捲を目指します。

## セキュリティビジネスの新たなフロンティアを切り拓く

爆物検知器やボディスキャナーなどにより、空港向けセキュリティビジネスは大きく発展いたしました。テロは世界的な拡がりを見せており、コロナ禍により訪日外国人旅行者は大きく減少していますが、今後もテロ対策などへの必要性は高まるものと思われれます。セキュリティ商材の開発を強化し、空港を足掛かりとして、その先にある膨大なポテンシャルを秘めたセキュリティビジネスの新たなフロンティアを切り拓いてまいります。

## 防災特殊車輛ビジネスの確立

多発化・激甚化する災害に備えるための消防・企業の防災対応力強化に対し、水利確保・水害対策用車輛や救助工作車を中心とした革新的な防災特殊車輛の開発・拡販をもって、消防防災・産業防災の装備刷新・充実に貢献してまいります。

## 当事業の基盤である足元の事業を固め、一層磨き上げる

消防防災を対象とする消防ホース・防災車輛・資機材・防火衣等特殊被服は、当社防災事業の根幹をなす事業基盤です。技術を磨き、新たな商材を投入し、業界No.1の地位を確固たるものにすることを目指します。市町村消防の広域化、緊急消防援助隊の増設と機動力の強化など、消防防災の役割拡大・機能強化に貢献することを目指してまいります。

## 消防ホース・防災車輛生産体制の刷新

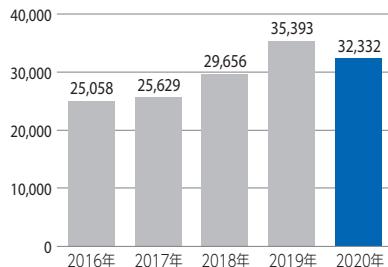
消防ホース・防災車輛の生産にかかわる人材・設備・生産技術に磨きをかけ、商品開発力向上・品質改善・コスト低減を進めてまいります。事業の発展を支える生産体制の刷新・高度化が緊急の課題であり、これを推進してまいります。

当社グループは、防災事業の社会的使命と責任をしっかりと受け止め、創業以来の社是である「社会の安全と生活文化の向上」への貢献を通じて、その負託に応えてまいります。

# 連結財務ハイライト／セグメント別の概況

## 売上高

(単位：百万円)



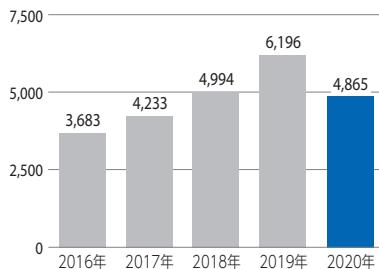
## 1株当たり当期純利益

(単位：円)



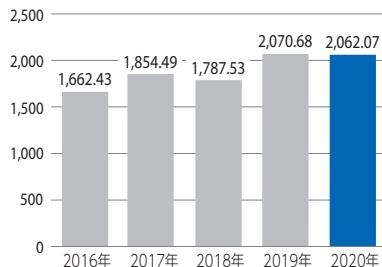
## 経常利益

(単位：百万円)



## 1株当たり純資産

(単位：円)

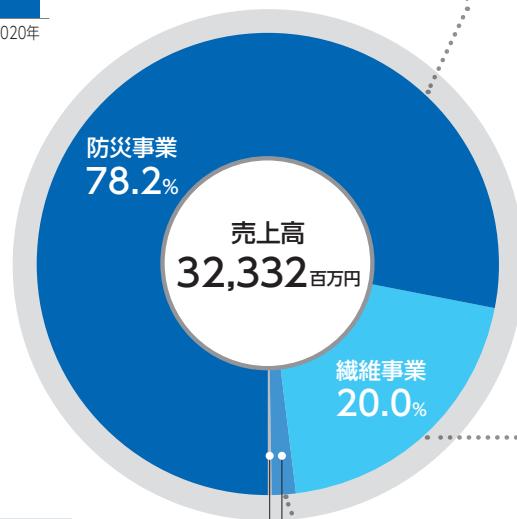


## 純資産

(単位：百万円)



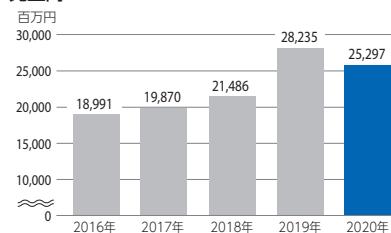
## セグメント別売上構成比



(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

## 防災事業 ● 売上高 / 25,297百万円

### 売上高



救助工作車、空港向けセキュリティ機材が売上を伸ばしたことに加え、空港用化学消防車も引き続き堅調に推移しています。大手民間企業向け大型防災資機材につきましては、コンビニート向けが堅調に推移する一方で、前期売上に大きく寄与した原子力発電所向けは案件が一巡したこともあり売上が減少しました。これらの要因から、売上高は252億9千7百万円と前期に比べ29億3千8百万円減少しました。



高機動救助車 (ウニモグ)

津波風水害対策車と水陸両用バギー

## 繊維事業 ● 売上高 / 6,468百万円

### 売上高



前期減少した官公庁向け繊維資材の売上が回復しましたが、コロナ禍による自動車向け等の産業資材およびアパレル向け麻素材の売上減少などにより、売上高は64億6千8百万円と前期に比べ1億3千万円減少しました。



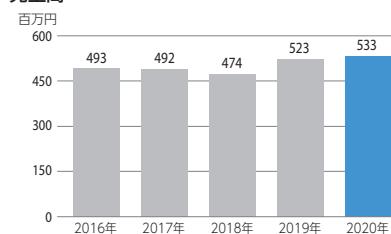
麻素材展示会



亜麻 (リネン)の花

## 不動産賃貸事業 ● 売上高 / 533百万円

### 売上高



不動産賃貸事業は順調に推移しており、売上高は5億3千3百万円となりました。



イオンタウン大垣

鹿沼ショッピングセンター

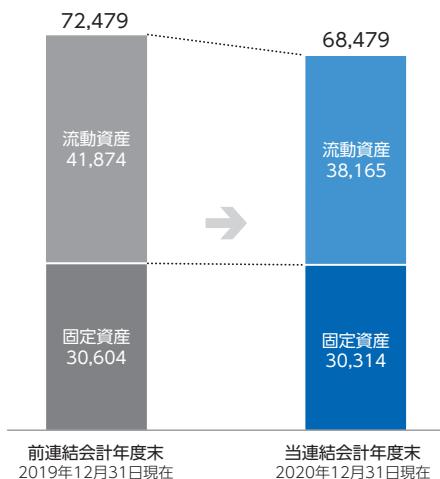
(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

# 連結財務諸表

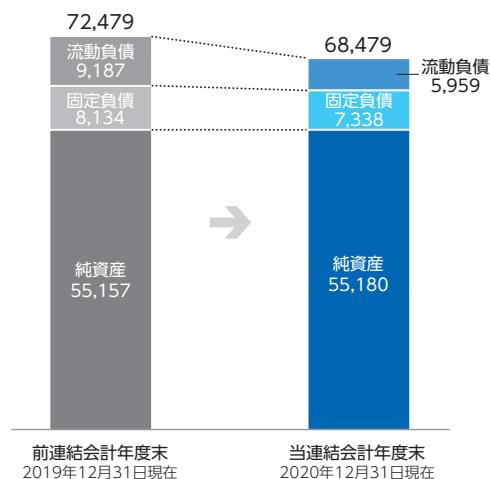
## 連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

### 資産の部

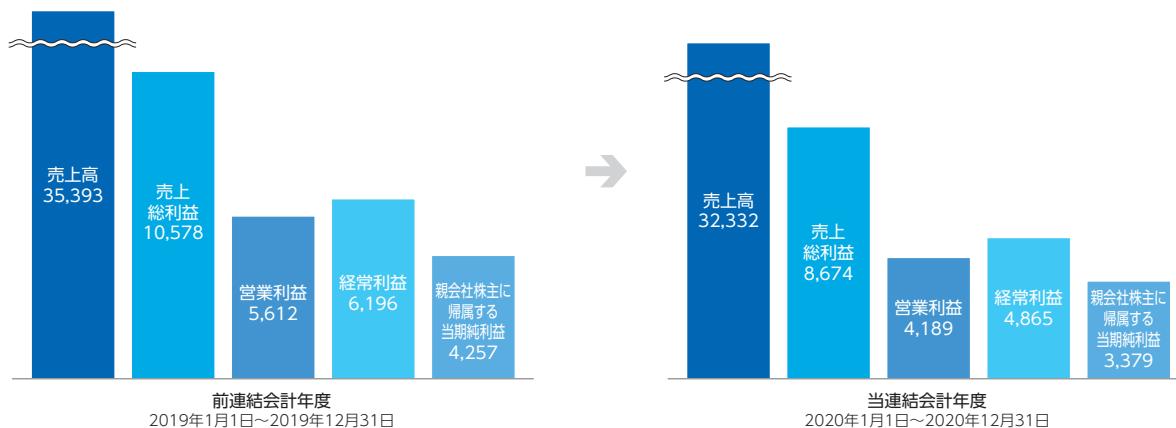


### 負債・純資産の部



## 連結損益計算書 (要旨)

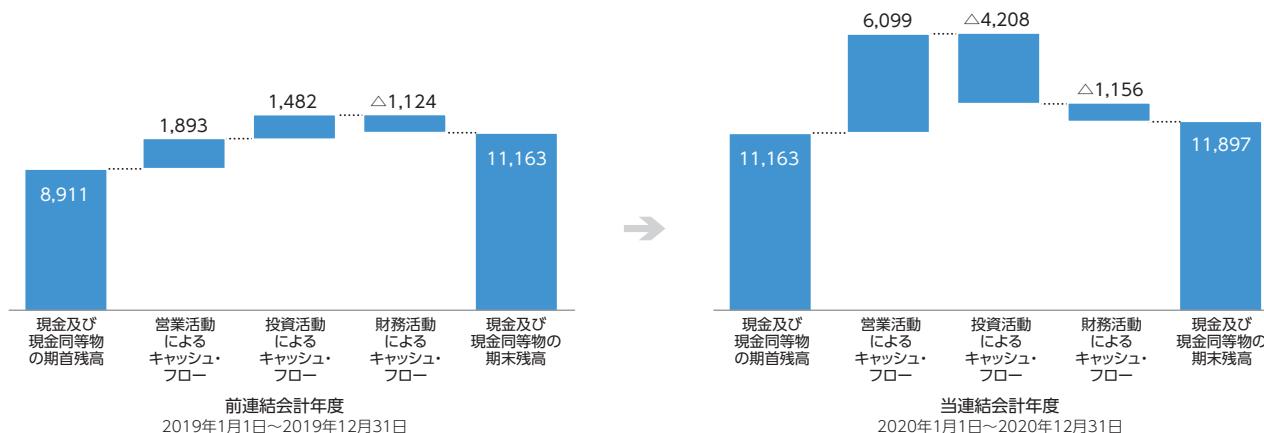
(単位：百万円)



(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)



### 財務のポイント

#### ○資産

当連結会計年度末の財政状態は、前連結会計年度末と比べて、総資産が40億円減少し、684億7千9百万円となりました。

これは主として、現金及び預金や有形固定資産が増加した一方で、売上債権や保有上場株式の含み益の減少などによるものです。

#### ○負債

負債は、仕入債務の減少、未払法人税等の減少や繰延税金負債の減少などがあり、前連結会計年度末と比べて40億2千3百万円減少し、132億9千8百万円となりました。

#### ○純資産

純資産は、利益剰余金が増加(21億9千6百万円)した一方で、保有上場株式の含み益の減少(23億5千万円)などにより、前連結会計年度末と比べて2千3百万円増加し、

551億8千万円となりました。この結果、自己資本比率は79.5%となりました。

#### ○営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の収入は、仕入債務が減少した一方で、売上債権の減少などにより、前期比42億5百万円増加し、60億9千9百万円となりました。

#### ○投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金の支出は、譲渡性預金での運用や防災車輛工場への投資などにより、42億8百万円(前連結会計年度は14億8千2百万円の資金の収入)となりました。

#### ○財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金の支出は、前期比3千1百万円増加し、11億5千6百万円となりました。

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

# 会社概要 (2020年12月31日現在)

- 商号 帝国繊維株式会社 (TEIKOKU SEN-I Co.,Ltd.)
- 設立年月日 1950年(昭和25年)7月1日/  
創立 1907年(明治40年)7月26日
- 資本金 1,538,002,500円
- 従業員数 161人(連結ベース340人)
- 代表者 代表取締役社長 白岩 強
- 主要な営業所および工場 本 社/東京都中央区日本橋二丁目5番1号  
(日本橋高島屋三井ビルディング15階)  
鹿沼工場/栃木県鹿沼市府所本町197番地

- 取締役  
および監査役
- |         |     |    |
|---------|-----|----|
| 代表取締役社長 | 白岩  | 強  |
| 取締役副社長  | 榎谷  | 徹  |
| 常務取締役   | 岡村  | 建  |
| 常務取締役   | 中尾  | 徹  |
| 取締役     | 片野  | 恭秀 |
| 取締役     | 高橋  | 信明 |
| 取締役     | 多賀谷 | 毅  |
| 取締役     | 高木  | 裕康 |
| 取締役     | 深澤  | 正宏 |
| 監査役     | 山口  | 和良 |
| 監査役     | 小林  | 元  |
| 監査役     | 松居  | 隆  |

## ○グループ企業の概要

会社名	資本金(百万円)	議決権比率(%)	主要な事業内容
帝商株式会社	85	100	消防ホース・防災機器・防災車輛の販売、設計 設備工事ならびに繊維製品の製造販売
キンパイ商事株式会社	50	100	消防ホース・防災機器・防災車輛の販売、設計 設備工事ならびに繊維製品の製造販売
テイセン産業株式会社	123	100	重布、布帛、繊維製品の縫製加工販売、 保険代理業
株式会社テイセンテクノ	30	100	防災車輛・機器の製造、保守

# 株式情報 (2020年12月31日現在)

- 発行可能株式総数 97,600,000株
- 発行済株式総数 27,354,400株  
(自己株式943,446株を含む)
- 株主数 16,092名
- 主な株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
損害保険ジャパン株式会社	1,587	6.00
株式会社みずほ銀行	1,295	4.90
明治安田生命保険相互会社	1,290	4.88
丸紅株式会社	960	3.63
ヒューリック株式会社	936	3.54
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	926	3.50
西松建設株式会社	800	3.02
株式会社モリタホールディングス	790	2.99
みずほ信託銀行株式会社	598	2.26
ピーピーエイチ ファイデリティ ピューリタン ファイデリティ シリーズ イントリンシツク オポチユニティズ ファンド	550	2.08

(注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しています。  
2. 持株比率は自己株式(943,446株)を控除して計算しています。

# 株主メモ

- 決算期 12月31日
- 定時株主総会 3月下旬
- 同総会基準日 12月31日  
その他必要ある場合は、取締役会の決議によりあらかじめ公告いたします。
- 中間配当確定日 中間配当を実施するときは、6月30日
- 単元株式数 100株

- 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
事務取扱場所 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

- 郵便物送付先  
電話お問い合わせ先  
各種手続お取扱店

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
各種手続 お取扱店 (住所変更、 株主配当金 受取り方法の 変更等)		みずほ証券株式会社 本店および全国各支店 プラネットアース (株式会社みずほ銀行内の店舗) でもお取扱いいたします。
		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 <sup>(※)</sup> <sup>(※)</sup> トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承 ください。
未払配当金 のお支払	みずほ信託銀行株式会社 <sup>(※)</sup> および株式会社みずほ銀行の本店および全国支店 (みずほ証券株式会社では取次のみとなります) <sup>(※)</sup> トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

- 公告方法 電子公告の方法により行います。  
但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。  
公告を掲載する当社ホームページ  
<http://www.teisen.co.jp/>

## 株主優待制度のご案内

- 対象となる株主様 毎年12月31日現在の株主名簿に記録された100株（1単元）以上保有されている株主様
- 優待内容 QUOカード1,000円分と3,000円相当の自社（リネン）製品
- 実施時期 毎年3月下旬の発送を予定しております。

テイセン

帝国繊維株式会社

東京都中央区日本橋二丁目5番1号 (日本橋高島屋三井ビルディング15階)  
TEL (03)3281-3022 FAX (03)3275-2162

